

今後の更なるパークゴルフの普及を見据えて

# 自民党パークゴルフ普及振興議員連盟発足



議連総会にて発言する橋本聖子会長。左に中村裕之事務局長、右は土井亨幹事長

事、日本パークゴルフ設計コンサルタント協会（JPGA）中村圭吾会長、JPAC岡本理事、スポーツ庁からは健康スポーツ課岡崎健一課長補佐らが出席した。

日本発祥のパークゴルフの更なる普及と振興を図り、国政に於いてもスポーツとしての地位向上等の支援環境を整えることを目的とした「自民党パークゴルフ普及振興議員連盟」の設立総会が11月18日、東京都千代田区の衆議院第2議員会館で開催された。当日はこの会の設立に際し約2年半にわたり準備に奔走された世話人である橋本聖子、中村裕之、秋本真利及び土井亨議員等27名の国会議員や代理人の他、公益社団法人日本パークゴルフ協会（NPGA）から三井巖会長、堂前芳昭常務理

冒頭、議事進行役の中村裕之議員が前述のパークゴルフ議連設立の主旨を力強く宣言し、引き続きNPGA三井巖会長からパークゴルフの説明および、発祥から現在に至るまでの歴史と経緯、日本や世界への普及状況や、今後の取り組みなどが報告された。その後各議員から質疑応答が行われ「地域におけるパークゴルフ場の適正なコース配置数について」、「広域市町村における地方協会の設置基準」、「グラウンドゴルフとの違い」等に関し、回答や意見交換が行われた。また仙台市パークゴルフ協会連合会並びに仙台市市議会、パークゴルフ推進議員連盟の取り組みとして、市内5区各区に1ヶ所、更に全国規模の大会開催やイベントが可能な36ホール以上のコースの設置を請願していると報告が協会側からな

された。この会の代表を務める橋本聖子議員は北海道出身ということもありパークゴルフに対する造詣も深く、「個人的にも北海道発祥のパークゴルフとは繋がりが深く、地元早来の橋本牧場ではかつてパークゴルフ場を経営し、当時のNPO法人国際パークゴルフ協会（IPGA）公認コースを持つていた。そのスポーツの素晴らしさはよく理解し、実感している。今後国内で大きく普及発展していくことが予想されるパークゴルフのスポーツ化、国政レベルでスポーツの普及発展に寄与していく。将来的にはJOC（日本オリンピック委員会）への加盟も応援して行きたい」との主旨の発言がなされた。総会ではNPGA三井巖会長より橋本聖子会長に、議連設立の記念品としてパークゴルフ発祥の地、北海道幕別町で製造されたニッタクス社製のパークゴルフクラブとボールが贈呈され、参加議員からは現在のパークゴルフクラブの技術進歩に驚嘆の声が上がっていた。

このパークゴルフ議連設立のきっかけは中村裕之議員ら世話人及び、JPAC中村圭吾会長が中心となり、各地域でのパークゴルフに関する活動や意見交換を通し、「国民的スポーツとしてのパークゴルフの普及推進、都市公園整備事業におけるパークゴルフの取り扱い、復興支援事業への取り組み、国際化への助言」等、その必要性や主旨に賛同する議員が参加し今回の運びとなった。今後パークゴルフが日本のみならず韓国や中国など、グローバルに発展していくことが期待される。



左から中村裕之事務局長、事務局次長の秋本真利、牧島かれん、中川郁子各議員、橋本聖子会長、NPGA三井巖会長、西村明宏副会長、NPGA堂前芳昭常務理事、土井亨幹事長、JPAC岡本克己理事、JPAC中村圭吾会長

## 自民党パークゴルフ普及振興議員連盟 参加議員

会長 橋本 聖子			事務局長 中村 裕之			幹事長 土井 亨					
顧問	浩 正 頭	馳 溝手	副会長	木村 義雄	吉川 貴盛	幹事長代理	亀岡 偉民	大岡 敏孝	小林 鷹之	井上 義行	中川 郁子 事務局長次長 秋本 真利 牧島かれん
			今津 寛	左藤 章		中根 一幸	勝沼 栄明	武井 俊輔	井北村 経夫		
			石田 真敏	西村 明宏	副幹事長	平口 洋	勝保 孝明	豊田 真由子	豊田 俊郎		
							神山 佐市	堀井 学			